

授業やテストのためではない、「学ぶ」ことの大切さと可能性を感じさせてくれるあたたかい作品です。



『宙わたる教室』  
伊与原新 文藝春秋



「火星の夕焼けは、青いんですよ」  
その一言で引き込まれた。



『宙わたる教室』  
伊与原新 文藝春秋



それぞれの人生を抱えながらひとつの目標に向かって出せる力を出し合う生徒たちの姿に心打たれました。先生の寄り添い方も好き。



『宙わたる教室』  
伊与原新 文藝春秋



筆致は淡々としているのに、定時制生徒の、先生の、学びへの情熱が胸熱です。生徒だけでなく教員にも読んでほしい本です。



『宙わたる教室』  
伊与原新 文藝春秋



NHKドラマ化。高校の定時制で、年齢や事情がそれぞれ異なる生徒たち。

「科学部」を作って世界へ飛び出す！



『宙わたる教室』  
伊与原新 文藝春秋



一人一人が、協力しながら目標に向かっていく姿に共感し、勇気をもらえる。

K.O.



『宙わたる教室』  
伊与原新 文藝春秋



様々な事情を抱えた定時制の生徒たちの視点で物語が進んでいきます。ばらばらだった彼らが目標に向かって努力する姿にわくわくします。

K.O.



『宙わたる教室』  
伊与原新 文藝春秋



定時制高校のクラブ活動を通して、さまざまな年代の生徒の心模様を描く。

K.O.



『宙わたる教室』  
伊与原新 文藝春秋



成瀬がますますパワーアップ！ 我が道を突き進む成瀬に間違いなく虜になります。

K.O.



『成瀬は信じた道をいく』  
宮島未奈 講談社



前作『成瀬は天下を取りにいく』に引き続き、成瀬が大活躍。もっと成長ぶりを見てみたい！

K.O.



『成瀬は信じた道をいく』  
宮島未奈 講談社



本を読みながら声を出して笑ったのは久しぶりでした。



『成瀬は信じた道をいく』  
宮島未奈 講談社



前作に続く主人公の行動力に、前向きな気分になれそう。



『成瀬は信じた道をいく』  
宮島未奈 講談社



成瀬の「何になるかより、何をやるかの方が大事だと思っている」という言葉を、進路に迷う生徒に届けたい。



『成瀬は信じた道をいく』  
宮島未奈 講談社



前作に続き楽しめました。何と云っても成瀬さんのキャラがいい！



『成瀬は信じた道をいく』  
宮島未奈 講談社



さわやかにまっすぐ、でもちょっと変な成瀬からは島崎じゃなくても目が離せない。



『成瀬は信じた道をいく』  
宮島未奈 講談社



成瀬に感化された人々のなんて楽しそう  
なんだろう。成瀬ワールド全開。



『成瀬は信じた道をいく』  
宮島未奈 講談社



こんなに面白かった?! 初めて本を読む32歳・みくのしんと読むと、昔読んだことのある本が10倍は面白く感じた。ぜひ、一緒に、泣いたり、笑ったり、怒ったりしよう!!



『本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む  
走れメロス・一房の葡萄・杜子春・本棚』  
かまど・みくのしん 大和書房



「読書が苦手」な人の初読の感想！  
こんなのみんな楽しいですよね！



『本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む  
走れメロス・一房の葡萄・杜子春・本棚』  
かまど・みくのしん 大和書房



どんな格好でも、どんな読み方でも、  
楽しく読む感動を味わってほしい！



『本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む  
走れメロス・一房の葡萄・杜子春・本棚』  
かまど・みくのしん 大和書房



かつてない読書体験記。人が本を楽しそうに読んで  
いるのを、見るだけでこんなに面白いとは。



『本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む  
走れメロス・一房の葡萄・杜子春・本棚』  
かまど・みくのしん 大和書房



凝り固まった“読書”の概念が壊れます！ 声に出したり  
踊ったり、ティッシュを並べたり…。こんな読み方って  
アリ！？ 笑ってしまうので電車で読むのは危険です。



『本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む  
走れメロス・一房の葡萄・杜子春・本棚』  
かまど・みくのしん 大和書房



司書も「読んでほしい！」というだけじゃなく、  
かまど君みたいに一緒に伴走することが大切かも  
と気づかされた本です。



『本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む  
走れメロス・一房の葡萄・杜子春・本棚』  
かまど・みくのしん 大和書房



本を読んだことのなかったみくのしんさんと  
一緒に、本を読むことの楽しさを味わえる一冊。



『本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む  
走れメロス・一房の葡萄・杜子春・本棚』  
かまど・みくのしん 大和書房



本の読み方は人によってこんなに違うものなのか  
ということがよくわかります。とにかく読んでい  
て面白いです。



『本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む  
走れメロス・一房の葡萄・杜子春・本棚』  
かまど・みくのしん 大和書房



2024  
第18回

KO本大賞



ケー - オー - ぼん【KO本】

神奈川県学校図書館員研究会の会員が この一年に自分で読んで

「おもしろい！生徒にもすすめたい！」と思った本。投票により大賞を決定する。

“かながわ・おもしろ・本” “これは・おさえておきたい・本” “Knock・Out・された本”。